

1. はじめに

平成 21 年からの障害者制度改革は 5 年目を迎え、障害者差別解消法の基本方針が策定されました。このあと、障害者差別解消法は各分野の対応要領・対応指針を作成して、平成 28 年度から施行されます。また、私たちに関連の深い障害者総合支援法では、施行後 3 年の見直し作業が進められており、意思疎通支援事業も厚生労働省に作業チームが作られて見直しが議論されています。

このような状況の中、協会は地域での障害者制度改革の推進に注力して、東京都福祉局との懇談会や都議会各会派との予算ヒアリングを行い、東京都の要約筆記者派遣事業の実施、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実、バリアフリーなまちづくりなどを求めてきました。また、協会の社会的活動を強化するために既存事業に加えて日本財団助成「中途失聴・難聴者コミュニケーション指導者養成事業」、東京共同募金会助成「聞こえのハンドブック作成事業」、日本社会福祉弘済会助成「聞こえの啓発リーダー養成講座」を実施しました。これらの新たな財団助成事業を実施できたことは、認定 NPO 法人としての協会に対する社会の一定の評価の表れであるとともに、協会の社会的責任をより大きくさせるものであり、自助・共助に加えて新しい公共の担い手としての協会活動を自覚させられた平成 26 年度でした。

2. 協会の対外活動

平成 26 年度の協会の対外活動は、東京都の要約筆記者派遣事業の具体化を求める行動を中心に進められました。

平成 26 年度の東京都要約筆記者派遣事業は「東京都聴覚障害者意思疎通支援事業（広域型行事への意思疎通支援者派遣）運営要綱」に従って実施され、派遣対象の公益性・広域性が強く求められました。その結果「障害者団体又は障害者支援団体が、主催又は共催する広域型行事及びその準備のために必要な会議等へ意思疎通支援者の派遣」に利用が限定され、協会の理事会や専門部の役員会などが対象外となるなど協会活動を大きく制限するものになりました。

一方、コミュニケーション学習やバリアフリーなまちづくりに関しては、中途失聴・難聴者手話講習会の継続や東京都読話講習会の多摩地域開催が実現しましたが、東京都手話通訳等養成講習会指導者クラスに中途失聴・難聴者コースを設けるなどの施策には前進が見られませんでした。協会が財団助成を受けて実施した「中途失聴・難聴者手話（コミュニケーション）指導者養成事業」は、本来行政が主体となって進められるべき事業であることを次年度以降行政に強く要望していきたいと考えます。

その他、社会への聞こえの啓発活動、会議施設への磁気ループの設置などの解決には区市町村での活動が非常に重要ですので、今年度も「地域活動強化プロジェクトチーム」を継続し、区市町村の中途失聴・難聴者組織との連携を進めました。

3. 協会の対内活動と組織強化

3.1 対内活動

協会の対内活動は平成 26 年度事業方針・活動計画に沿って進められました。11 月の第 29 回「東京都中途失聴・難聴者の集い」では、ケント・デリカット氏の講演、コロッケ氏のビデオレター紹介など多彩な企画を実施し、400 名を超える参加者を迎えて協会内外の中途失聴・難聴者の盛大な交流を実現しました。通年事業としては、前年度同様「地域コミュニケーション講座」や新宿区社会福祉協議会との共催事業「聞こえに関する連続講座」を開催し、地域での中途失聴・難聴者の自立のための学習活動を実施しました。また、例年通り「高齢難聴者生きがい講座」、「手話講習会応用クラス」、「実践読話講習会」などを開催しました。例年協会が実施するこれらの講座、講習会は中途失聴・難聴者が互いの交流を通じて学習を重ねる活動の「場」として実績を積み上げていると評価することができると考えます。

また、今年度は新たな事業として日本財団助成「コミュニケーション指導者養成事業」、日本社会福祉弘済会助成「聞こえの啓発リーダー養成講座」を実施しました。また、東京共同募金会の助成を得て「聞こえのハンドブック」を作成し、行政・社会福祉協議会・地域の当事者組織などへの頒布を行い、中途失聴・難聴者の自己啓発・社会参加の促進を図りました。

その他、協会各専門部も個別の活動の中で協会の事業目的の達成に努力し、サークルは協会員の交流

の場として非常に大きな役割を果たしました。非協会員や支援いただく人への働き掛けなど多くの課題を抱えています。今後とも専門部・サークルの活動を中途失聴・難聴者の自助・共助の「場」として強化していきたいと考えます。

3.2 組織強化

協会は2年前に協会組織強化のために事業委員会、広報委員会、防災委員会の三つの専門委員会を設置しました。今年度の事業委員会では、既存の協会事業の着実な実行を進めると同時に、新規助成事業の実施を担いました。また来年度に向けても助成事業申請を行い、日本社会福祉弘済会からは継続助成が決定しました。一方、広報委員会では協会ニュースの見直しを進めると同時に、NPO 法人サービスグラントの協力を得て協会ホームページのリニューアル作業を行いました。新たなホームページは5月運用開始を目指しています。専門部・サークルの活動についてはそれぞれの報告に記載がありますが、各専門部のあり方については活動目的・運営について様々な課題が顕在化してきており、協会活動に必要な専門部のあり方について、H27年度の重要な検討課題として議論する計画をしております。

3.3 協会財政

数年来の課題となっています。会員拡大に関して、各種の講座・講習会や協会内外の集まりで協会紹介パンフレットを活用した会員の拡大を図ると同時に、賛助会員の依頼を企業・医療関係者などに対して行いましたが、平成26年度の会員数は目標698名に対し686名に止まりました。来年度以降、「協会パンフレット」、「聞こえのハンドブック」、「新しいホームページ」を活用して協会内外に積極的な会員増加活動を行い、会員数の停滞をなんとか打開したいと考えます。また、今年度は寄附金の増加で収支不足は避けられましたが、次年度以降認定NPOとしての協会活動をより一層活発にすることで寄附金の一層の増加を図り、財団・行政よりの補助金・助成金も活用して協会事業を拡大していきたいと考えます。

4. まとめ

協会は認定NPOの資格を得て2年目となります。認定NPOになると、活動のあらましや寄附金の状態を所轄官庁である東京都に毎年報告する必要があります。今年度の新規助成の獲得にあたっては、認定NPOの資格をもった協会に対する社会的信用が大きく貢献しました。しかし財団助成を継続的に受けるためには、実施した事業の評価がどのようなものであるかが大きく問題となります。他方、ホームページリニューアル作業を通じてのサービスグラントとの共同作業でも、協会の活動の立ち遅れている面の指摘を多く受けました。協会は定款に「都内在住の中途失聴者、難聴者をはじめ、広く聴覚障害者全般に対して、福祉の増進と、生活・文化の向上を図る事業を行い、地域社会に寄与する」とあるように、会員の自助・共助の場であるとともに公共的な役割を担っています。これからは協会の活動の透明性を高めること、対外的な情報発信を強めることが非常に重要になってきます。私たちの毎日の協会活動をもっと楽しく、拡がりのあるものとするために、社会への働きかけを一層強めていきたいと考えます。

事業報告(一覧)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳入講門座	平成 26 年 12 月 14 日	アットビジネスセンター池袋駅前別館	45
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	年間	東京都障害者福祉会館 他	212
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	月 1 回、年間 9 回	東京都障害者福祉会館	264
	実践読話講習会	月 2 回、年間 18 回	東京都障害者福祉会館	273
	地域コミュニケーション啓発講座	年間 5 回	国分寺市、多摩障害者スポーツセンター、練馬区	166
	地域福祉・相談支援ゼミ	年間 19 回	東京都障害者福祉会館	614
	応用手話講習会	月 2 回、年間 19 回	東京都障害者福祉会館、多摩障害者スポーツセンター	351
	新宿区社協共催事業	年間3回	新宿区社会福祉協議会	93
	中失・難聴者対象コミュニケーション指導者養成講習会	年間 10 回	戸山サンライズ・群馬県コミュニケーションプラザ	210
	聞こえの啓発リーダー養成講座	年間 6 回	東京都障害者福祉会館	34
	聞こえのハンドブック作成	年間	当会事務所	100
	手を動かそう	年間 12 回	東京都障害者福祉会館	162
	講師等派遣	世田谷福祉専門学校・東京手話通訳等派遣センター・新宿区社協・町田市社協・東京都心身障害者福祉センター他		43
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集、提供事業及び他団体との連絡調整	「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所	150
	テキスト・ビデオ作成	年間	当会事務所 他	10
	ホームページ運営	随時更新	当会事務所	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	年間	当会事務所	36
	第 29 回集い	平成 26 年 11 月 30 日	板橋区立高島平区民館ホール	400
中途失聴者、難聴者にかかわる相談、支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 12 回	東京都障害者福祉会館	240
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	50
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	当会事務所	100
中途失聴者、難聴者の文化・芸術、スポーツの振興を図る事業	文化部各サークル 等	月 1~2 回	東京都障害者福祉会館 他	1200
コーディネーター	高齢難聴者生きがい講座・実践読話講習会・地域コミュニケーション啓発・地域福祉相談支援ゼミ等事業計画・進行管理・会計処理・事務処理	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日	当会事務所	168

2. 収益事業

自動販売機による委託販売

東京都庁第一本庁舎鍛冶屋橋クラブ・東京都江戸博物館・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園、
東京しごと財団(2台)・東京都第六建設事務所

事業報告

事務局

1. 体制

事務局長: 宇田川芳江 職員: 坂部美秋、高田香苗、高橋貴子、松枝朋美、木野理恵、百瀬静江

2. 活動報告

- ・理事会(4/26・5/7・5/25・6/28・7/26・8/23・9/27・10/25・11/22・12/20・1/24・2/28・3/28)
- ・東京都福祉保健局との懇談会(7/17)
- ・人工内耳入門講座 12/14(45人)
- ・新宿区社会福祉協議会共催事業「聞こえの問題を考える連続講座」
9/20(26人)・10/18(39人)・11/15(28人)
- ・「手話・字幕付胃検診」受付 9/6(13人) 11/15(24人)・2/7(19人)
- ・高齢者対象「手を動かそう」月1回第1金曜日12回実施。参加者 延162人
- ・協会ニュース発送 毎月1回 第2土曜日 12回 会員有志の協力(延130人)
- ・「第43回耳の日記念文化祭」参加(2/28・3/1)
- ・「自立支援センターまつり」参加(7/21)
- ・相談員派遣: かがやき夢工場相談員派遣(月1回毎回2名) 4月~3月 第3木曜日 午後1時~5時
- ・例会 毎月第4日曜日 12回

実施日	テーマ	参加者
4月27日	平成26年度東京都意思疎通支援事業説明会	35
5月25日	通常総会	81
6月22日	災害対策 一人ひとりができること	18
7月27日	補聴援助機器について学ぼう	15
8月24日	いっしょにケーススタディ	35
9月28日	バリアフリーとユニバーサルデザイン	16
10月19日	新入会員説明会&交流会	34
11月23日	中途失聴・難聴者の集い	400
12月18日	クリスマス会	47
1月25日	難聴者の情報保障@職場	49
2月22日	手話がいろいろな出合いを運んでくれた	71
3月22日	使っていこう! 聞こえのハンドブック	39

事業委員会

1. 体制 委員長: 新谷友良 委員: 宇田川芳江・小橋由里子・小笠原晶子

2. 活動報告

- (1) 委員会開催 4/16・5/7・6/18・7/9・7/16・8/20・9/24・10/22・11/19・12/17・1/14・2/18・3/18
- (2) 関係会議等 4/2・5/7・5/14・6/4・7/9・8/20・10/22・11/9・12/17・1/14・3/18(日本財団助成事業)
4/20(講座運営スタッフ研修) 9/16(事業運営担当者懇談会)

3. 事業報告

I 助成事業

- (1) 日本財団助成事業: 「中途失聴・難聴者対象コミュニケーション指導者養成講習会」
東京会場: 9/6・9/15・9/20・9/23・10/11(各回2講座) 54人応募・30人受講
群馬会場: 1/17・1/24・2/11・2/14・2/28(各回2講座) 12人受講

成果物として「指導の手引き」・報告書・事業完了報告を日本財団に提出。

- (2) 日本社会福祉弘済会助成事業:「聞こえの啓発リーダー養成講座」
東京のみにて開催:9/7・9/21・10/18・11/8・11/16・12/21(各回2時間) 17人受講
事業完了報告書を提出
- (3) 東京都共同募金会助成事業:「聞こえのハンドブック」作成
「聞こえのハンドブック」編集委員会による編集・刊行となった。

II 協会委託事業の拡大を図るとともに、下記の既存事業の運営管理を行った。

- ① 実践読話講習会
- ② 高齢難聴者生きがい講座
- ③ 地域福祉相談ゼミ
- ④ 地域コミュニケーション啓発講座(運営担当:組織部)
- ⑤ 聴覚障害者コミュニケーション教室

III 協会自主事業の拡大を図るとともに、下記の既存自主事業の運営管理を行った。

- ② 手話講習会応用クラス
- ② 新宿区社会福祉協議会共催事業
- ③ 手を動かそう講座

IV 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記の既存事業の運営管理を行った。

- ① 東京都中途失聴・難聴者手話講習会
- ② 東京都読話講習会
- ③ かがやき夢工場相談員派遣

【中途失聴・難聴者のコミュニケーション充実のための社会教育事業】

① 高齢難聴者生きがい講座

平成 26 年 6 月 23 日(月)～平成 27 年 3 月 23 日(月) 原則第 4 月曜日 12 回

会場:東京都障害者福祉会館

講師:(読話)桜井武志・(手話)高田香苗・文化部サークル他

参加者数:延人数 270 人

回	年月日	内 容	
1	平成 26 年 6 月 25 日(月)	開講式・自己紹介	
2	7 月 28 日(月)	講演会	講師:森せい子氏(情文センター)
3	8 月 25 日(月)	手話講座 講師:高田香苗氏	手話コーラスすみれ会
4	9 月 22 日(月)	同上	三田絵手紙サークル
5	10 月 27 日(月)	同上	手話サークル(三田・昼)
6	11 月 24 日(月)	手話紙芝居	ボランティアグループ・わノ会
7	11 月 30 日(日)		中難協集い参加
8	12 月 15 日(月)	読話講座 講師:大江千枝氏	
9	平成 27 年 1 月 26 日(月)	同上	
10	2 月 23 日(月)	読話サークル	手話サークル(三田・夜)
11	2 月 28 日(土)		耳の日記念文化祭参加
12	3 月 23 日(月)	修了式・交流会	

② 手話講習会応用(三田 I / II・多摩 I / II)

◇ 三田応用 I / II 平成 26 年 4 月 24 日～平成 26 年 2 月 26 日 計 19 回

会場:東京都障害者福祉会館

講師:橋本美知子・中村みずほ

参加者数【応用 I】受講者 23 人(延人数 322 人) 【応用 II】受講者 22 人(延人数 292 人)

◇ 多摩応用 I / II 平成 24 年 4 月 24 日～平成 25 年 2 月 26 日 計 19 回

会場:多摩障害者スポーツセンター

講師:坂山己世・安雙八重子

参加者数:【応用 I】受講者 12 人(延人数 192 人) 【応用 II】受講者 9 人(延人数 159 人)

③実践読話講習会

平成26年5月21日(水)～平成27年2月18日(水)毎月第1・3水曜日 18:30～20:30

年間17回(開講式・修了式・講演会1回を含む)

会場:東京都障害者福祉会館 B1

講師:桜井武志 助手:石井やい子・橘高久美子

参加者数 受講者21人(延人数 273人)

④東京都中途失聴・難聴者手話講習会

⑤地域福祉相談支援ゼミ

⑥講座運営スタッフ研修 4/20(土)「中難協の仕組みと課題」等

(4)講師派遣事業 (43回)

①東京手話通訳等派遣センター「東京都手話通訳等養成講習会」7/2(昼夜)・8/27・10/15(昼夜)

②世田谷福祉専門学校 9/11・10/2・10/9・10/16・10/23・10/30・11/6・12/4・12/11・12/18・1/15・1/22・1/29

③新宿区社会福祉協議会共催事業 9/20・10/18・11/15

④町田市社会福祉協議会 4/14・2/17・2/24・3/3・3/10

⑤中野区中途失聴・難聴者の会 6/14・7/12・8/9・9/13・9/24・10/11・11/8・1/6・3/14

⑥東京都心身障害者福祉センター 7/4

⑦船橋市身体障害者福祉センター 9/25

⑧東村山市要約筆記サークル 10/15

⑨西東京市公民館(実施団体 西東京市中途失聴・難聴者の会ポラリス)10/19

⑩入間市社会福祉協議会 11/7・2/20

⑪北区手話サークル 2/15

⑫中野区要約筆記者の会 3/29

(5)新規自主事業の開発について

○助成事業

①共同募金会 NHK 歳末たすけあい配分「聞こえに関するブックレット」作成

②日本財団「中途失聴・難聴者対象コミュニケーション指導者の養成」

③日本社会福祉弘済会「聞こえの啓発リーダー養成講座」

(6)その他

①新宿区社会福祉協議会共催事業への提案 3回開催決定

広報委員会

NPO法人にふさわしい広報活動に向け、協会の広報媒体を見直し、刷新に努めた。

1. 体制

委員長:新谷友良 委員:木本練子・小島敦子・寺田翔・皆川みさ子 事務局:宇田川芳江

2. 活動報告

(1)委員会を開催した。4/8・6/10・7/15・9/9・10/21・11/11・1/20・2/10・3/10

(2)「協会ニュース」について、会報編集部と内容・編集作業の見直しを進めた。

(3)協会ホームページについて、NPO法人サービスグラントの協力を得て、リニューアルの取組を進めた。

(4)啓発パンフレットの作成について、話し合いを行った。

防災委員会

1. 体制

委員長:小川光彦 委員:小笠原晶子・松之木礼毅

2. 取り組み状況

・6月委員会で松之木委員を承認

・委員会開催 4/9・6/22・9/25・10/16・11/13・1/15・2/3・3/10 (平日夜間が中心)

・6月22日(日)例会「災害対策 一人ひとりができること -仲間、地域でできること-」を担当実施。

・全要研支部減災支援隊と合同協議 12/22

3. 委員会課題

- ・運営体制 委員が3人と少なく、補充が必要である。
- ・災害時の協会内連絡体制の整備
災害時の協会の連絡体制の課題について、十分に検討することができなかった。継続して取り組む。
- ・会員・関係者へ、身を守るための取り組み
身を守るための防災意識啓発の取り組みをしたが、継続的な活動につなげていない。
情報提供だけでは弱い。常時防災を意識できるような取り組みが必要である。
- ・その他検討課題
 - *助成金検討 聴覚障害者に有効な伝達システム等が考えられる。
 - *関係団体との協力体制構築
全要研支部減災支援隊と合同会議開催。当委員会との連携の可能性、必要性等について確認した。

地域活動強化プロジェクトチーム

<26年度活動報告>

1. 体制

明田美奈子・有馬富江・小島敦子・皆川みさ子・事務局 宇田川芳江

2. 活動報告

- ・会議：通常はメール相談、2015年2月18日チーム会議
- ・3月29日 「地域の声を聞く会」を実施（東京都障害者福祉会館）
15地域から23名の参加があり、地域の会と地域の行政・社会福祉協議会との関わり、社会資源の利用状況などを中心に話を伺った。参加された多くの地域の会が、磁気ループやOHCの導入を働きかけていた。助成金事業を行っているところもあった。
協会に対しての要望としては、①災害時に使用できる難聴者用のバンドナがほしい。②協会ニュースに、地域の会の活動や企画を紹介するページを作り、地域の会の会員増にもつながる工夫をしてほしい。③隣接地域合同開催の企画をマッチングしてはどうか。④協会の新入会員に地域の会の情報を伝えてほしい。
- ・地域ネットワークニュース配信や、協会からの講師派遣など、協会の力を地域の活動に活かしていただくことも考えながら、お互いに力をあわせて活動していきたい。

コミュニケーション対策部

1. 体制

部長：福田能文 部員：2人

2. 活動報告

活動方針として、障害者差別解消法の成立を意識して、障害者権利条約の内容にそったプログラム開発などを予定していたが、具体化できなかった。

他方、事業計画として「コミかるカフェ作ろう！」は、計画通り年間4回実施できた。4年前から取り組み始めた「コミかるカフェ作ろう！」は、好評を得ることができ、通算で22回実施するに至った。難聴者にとって密接な問題をテーマに掲げて話し合いの場を提供してきた。テーマも仕事関係、防災、アイデンティティと自己肯定を取り上げた。仕事関係は協会の中でも先駆的に取り組んできた。防災関連では、毎年3月にこのテーマを取り上げ、東日本大震災を風化させないという使命を持って取り組んでいる。そして、つかみどころのないアイデンティティについても、果敢に取り組んでいる。こうして「コミかるカフェ作ろう！」は、出会いと気づきの場として定着させることができた。しかし、部員数の少なさから運営の不備や進め方に課題が残った。振り返りと改善を繰り返して、より良いプログラムに育てていく。

	日付	タイトル・テーマ	参加者数	うち 非会員数
第 19 回	10 月 1 日	聴覚障害者の経営者に学ぼう！ ～社会企業家とは？ 働くときに大切にしたいこと～	25	14
第 20 回	3 月 11 日	もっと話そう！防災のこと ～3.11 を忘れない～	19	6
第 21 回	3 月 19 日	職場のコミュニケーション(7) ～難聴者のコミュニケーションニーズと 会議参加～	18	10
第 22 回	3 月 26 日	難聴・コミュニケーション・アイデンティティ ～自己肯定について考える～	15	5

なお、部長が 2013 年度から大学院修士課程進学のため、活動が停滞してしまったが、研究生の中で得た情報、論理性、人的ネットワークを協会に還元していきたい。

また、カフェ参加者の中から部員として協力したいという、意欲的な方々を迎えることができた。27 年度には組織を再構築し、難聴者の社会参加を促していく。

福祉対策部

1. 体制

部長：小川光彦 会計：宮本忠司 構成人数：11人 左記2人含む 運営会議：年間10回開催

2. 活動報告

○協会内部

(1) 参政権活動

12/13 衆院選向け参政権活動に協力

(2) 施設・交通アクセシビリティ活動

アクセシビリティ関連事例の収集、チェックシート作成の取り組み

(3) 2月15日講演会実施 19名参加

(4) 部会実施 4/30・6/27・7/29・8/22・9/30・10/28・11/21・1/27・2/11・3/27 計 10 回

(5) 協会ニュースへ随時福祉関係情報提供

(6) 協会諸行事の実施協力

○協会外部

(1) 7/17 東京都次年度予算懇談会協力

その他福祉関係の最新情報の収集、発信に努めてきた。

3. 反省点

12月の部会で「施設・交通アクセシビリティ」をメインテーマとして活動することを再認識したが、会員を巻き込むかたちにしないと発展がない。行事開催を通し、協会外部にも波及可能な内容としたい。

要約筆記普及部

1. 体制

部長：神野見帆 副部長：宇田川芳江 部員：4人

2. 活動報告

(1) 部会開催 5/28・6/30・7/28・10/6・11/10・12/8・1/27

(2) 8月例会担当(8/23)「いっしょにケーススタディ-要約筆記者と話そう-」

東京都登録要約筆記者の会(登要会)との合同企画 参加者30人 (登要会との打合せ 6/15)

(3) 講演会(11/16)「難聴者運動の歴史と要約筆記の歴史」

講師：(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 事務局長 佐野昇氏 参加者20人

(4) 反省点

・要約筆記者と話し合う機会は大切なので、今後このような場を考えていく。

・要約筆記に関する知識と理解を深めていく。

①難聴者運動と要約筆記事業など

②日常生活における情報保障としての要約筆記の利用

・随時、勉強会を開催

・出前講座を利用いただくために、地域の会や部・サークル、協会員に呼びかける。

手話対策部

1. 体制

部長:明田美奈子 副部長:坂山巳世・今井節子 会計:山口純子 部員:33名

2. 活動報告

(1)部会 毎月第1月曜日 18時30分～ 協会からの情報提供や報告

(2)部内研修

・11/10 講師 板宮由美子氏 出席者16人

・3/2 講師 高井洋氏による手話表現学習他 出席者13人

(3)ミニ講座(10/5) 出席者17人 参加者39人

(4)特別手話学習会(2/1) 講師:那須英彰氏 参加者73人

(5)協会行事協力

・2月例会(2/22)担当:谷千春氏講演会「手話がいろいろな出会いをはこんでくれた」参加者71人

・その他 協会主催行事への協力

会報編集部

1. 活動報告

(1)会報「協会ニュース」の編集(毎月第2土曜日発行)No.336～No.347(2014/4～2015/3)

(2)編集会議を開催

26年:4/9 5/14 6/11 7/9 8/13 9/10 10/8 11/12 12/10

27年:1/14 2/11 3/11

(3)初校チェック コロニーからの初校を複数のメンバーでチェック

26年:4/2 4/28 6/4 7/2 7/30 9/3 10/1 10/28 12/3 12/23

27年:2/3 3/4

※その他、ほとんど毎日のようにパソコンでの作業あり。

組織部

1. 地域ネットワーク活動

(1)ネットワーク・ニュースの発行:年間12回発行。

(2)ネットワークメンバー拡大:平成27年3月末現在メンバー数 80人

2. 地域コミュニケーション講座の開催

地域ネットワークの活動に平行して、地域での聞こえに困っている方を対象にその社会参加を促す地域コミュニケーション講座を以下5箇所で開催した。

月日	会場	テーマ	講師	共催
平成26年6月21日	国分寺労政会館	中途失聴・難聴者のコミュニケーション	西尾彰子氏	国立要約筆記サークルダンボ
7月19日	多摩障害者スポーツセンター	聞こえにくさを相手に伝えるコツを考えよう	宇田川芳江氏	
9月6日	多摩障害者スポーツセンター	補聴器を上手に使いこなそう	瀬部保夫氏	
11月2日	多摩障害者スポーツセンター	筆談をやってみよう	皆川みさ子氏	
平成27年1月24日	光が丘区民センター	聞こえに困って見えるもの聞こえるもの	新谷友良氏	練馬区聴覚障害者協会中難部

3. 協会例会として、10月19日新入会員対象の説明会・交流会を担当した。
4. 上記事業計画を実行するため、月1回の組織部会を開催した。

【多摩会】

1. 体制

役員：安野イヨ子・金子キミ子(会計)・三妻邦子・渡辺恭子

例会：毎月第2日曜日午後1時30分～4時30分 役員会：例会当日午前10時30分～12時 休会年6回

会場：多摩障害者スポーツセンターほか

2. 活動報告

例会日	内容	参加者数	情報保障	会場
5月11日	「点字のおはなし」 講師：川亦育与氏	13	(手)2人、(要)4人	多摩スポーツセンター
7月26日	暑気払い 和食「さがみ」	10	なし	八王子セレオ 9F
9月14日	サントリービール工場見学	13	ホワイトボード(要)3人	府中市
10月12日	「仲間と楽しく語り合い 交流を深めましょう」	13	なし	調布市市民プラザあくろす
12月14日	立川防災館 見学	11	ホワイトボード(要)4人	立川市
3月8日	茶話会	7	OHC(要)4人	多摩スポーツセンター

■ 実年部

1. 体制

部長：名倉順子 会計：長内節子 部員：関根一喜・濱 和男・幡山温子

2. 活動報告(平成26年度・月例会参加者延べ356人)

(1) 役員会：毎月第1木曜日 13時30分～16時

(2) 例会行事：毎月第3金曜日 年7～8回/年

(3) 協会ニュース 実年部のページの有効活用

(4) 年1回協会例会を担当

(5) 協会行事への参加協力(総会、集いなど)

(6) 会場：東京都障害者福祉会館 参加者延べ356人

(7) 活動の方針：室内例会と野外例会を主に実施する。

室内例会：日常に役立つ問題の勉強 野外例会：軽ハイキング・施設訪問(工場見学・市場見学等)

例会日	内容	人数	備考
4月18日	崎陽軒(工場見学)	30	
5月16日	城ヶ島(三浦半島)ハイキング	20	協会通常総会
6月20日	講演会(講師：早瀬久美氏)	34	
7月19日	講演会(講師：高田香苗氏)	48	自立センターまつり
8月	夏休み(休会)	-	
9月19日	高齢者向けのストレッチ体操 (講師：棚橋千恵氏)	35	関東高齢部と共催
10月17日	野外例会(久里浜 花の国)	27	
11月21日	手話勉強会(講師：中島純子氏)	43	協会集い
12月21日		-	協会クリスマス会
1月16日	初詣(巣鴨・とげぬき地蔵)	28	
2月20日	講演会(講師：早瀬健太郎氏)	66	
3月21日	講演会(栗田修平氏、川端エリ子氏)	25	耳の日

女性部

1. 体制

部長:森朱実 会計:東保子 協力支援員:前田・大山 他3人

2. 活動報告

例会:毎月第1木曜日 午後1時30分～5時

役員会:毎月第3水曜日 午後1時30分～4時

会場:東京都障害者福祉会館

実施日	行事内容	参加者	関係行事	役員会議
4月 5日	野外活動「東京江戸たてもの園&小金井公園お花見」	27		4月16日
5月 5日	ミニ講座(手話)・コーラス 講師:五十嵐郁子氏	29		5月21日
5月22日			中難協総会	
6月 4日	健康体操 ★手話ダンス 支援協力:島田律子氏 ★ハッピースマイルヨガ 講師:森朱実氏	27	関東難聴ブロック総会(川崎) 6月23日(森) 女性交流室:全難聴福祉大会バザ 一品作製(7人)	6月18日 6月11日
7月 3日	講演会 成年後見制度・ 終活セミナー	32	全難聴女性部県部会・総会山口 (7/5～7/6) 難聴女性に社会参加(6人)	7月16日
7月23日	講師:徳永明子氏、鈴木氏			
8月 7日	お盆休み		女性交流室:働く難聴女性への差別 (7人)	8月17日
8月21日				
9月 4日	アロマピエロ作製(役員担当)	18		9月15日
9月 7日	防災訓練(地域)	10		
10月25日			難聴福祉大会(三重)第3分科会 (77人) 東京5人	10月19日
11月 6日	町田研究所クリクラ工場見学	18	全難聴関東ブロック女性部一泊研修 会 長野の集い(58人) 東京7人	11月16日
11月 8日				
11月30日	集い	約400		
12月21日	協会行事クリスマス	47	協会クリスマス会	12月21日
1月 8日	初詣・新年会(靖国神社&ホテル ランチ)	18		1月14日
2月13日	認知予防免疫力アップ健康食	22		2月18日
3月 1日	耳の日記念文化祭(受付)		関東難聴者女性部長会議(横浜) 3月16日(森)	3月18日

青年部

1. 体制

部長:寺田 翔 副部長:石川寛和 会計:酒井宏長 企画:畠山夏美 一般部員:12人

2. 活動報告

4月	花見@新宿御苑
6月	交流会@代々木
7月	(1)東京聴覚障害者自立支援センターまつりにて青年部企画「みんな de ディスカッション」開催 (2)東京都難聴児を持つ親の会主催イベントの協力
9月	Tea会2@渋谷
11月	(1)Tea会2@初台 (2)映画「レインツリーの国」撮影協力
12月	クリスマス会@渋谷
1月	例会「難聴者の情報保障@職場」開催

文化部

【手話サークル 三田昼】

活動日:毎月第2金曜日・土曜日(13時30分~15時30分) どちらか選び参加
毎月第4土曜日・合同(10時00分~12時00分)

講師:第2金曜日・土曜日:五十嵐郁子先生
第4土曜日・合同日:長沼知子先生

会員:62人

交流会:7月ランチ食事会 東京プリンス 12月クリスマス交流会

【手話サークル 三田夜】

1. 体制

(1)運営委員

代表:小貫孝 副代表:田原達代 総務:鍛冶聡

会計:井上春江 補佐:鈴木蘭子

(2)指導者 ふくろうクラス:宮本正明氏 みみずくクラス:小野孝枝氏

(3)会員 60人

2. 活動報告

(1)活動日 毎月第1・第3土曜日、午後6時~8時

(2)活動内容 手話の学習と交流を通じて、会員相互の理解と親睦を深める

(3)手話学習会 年間20回。親睦会-納涼会、秋の伊豆大島の旅、忘年会、新年会など

【多摩手話サークル】

1. 体制

代表:志村瞳 副代表:青木房子 会計:牧本恵美子 部員:26人

例会日 毎月第2、第4木曜日

会場 東京都多摩障害者スポーツセンター 時間 午後1時30分~3時30分

2. 活動報告

4/10(総会)・4/24・5/8・5/22・6/12・6/26・7/10・7/24(講演会)・8/14(夏休み)・8/28(納涼会)・9/11・

9/25・10/9・10/23(野外活動)・11/13・11/27・12/11・12/18(クリスマス会)・1/8・1/22(新年会)・2/5・

2/27(反省会)・3/12・3/26(役員改選)

【多摩火曜手話サークル】

1.体制

代表:中尾ミヨ 会計:草間友子 運営委員:平高真澄、小机淑子、永石年子

講師:真藤千枝先生 会員数:37名

・会場 東京都多摩障害者スポーツセンター ・日時 原則として第1・第3火曜日 13:30~15:30

月日	内容	別会場	参加者数
4月1日	自己紹介:グループ別		31
4月15日	第9回定期総会		23
5月20日	「助詞が変わると表し方が変わる1」母に-母と-		31
6月3日	「助詞が変わると表し方が変わる2」		32
6月17日	二次熟語を作る。短文の表現練習		31
7月1日	昔ばなし「桃太郎」グループに分かれて発表	小金井会場	29
7月15日	二次熟語を作る。短文の表現練習		27
9月2日	会話の練習:「ばったり友人に出会って」		28
9月16日	二字熟語を作る「意味の合った手話を選ぶ1」	小金井会場	28
10月7日	「10周年記念講演会」中野佐世子氏		30
10月21日	二次熟語を作る。「意味の合った手話を選ぶ2」		27
11月4日	会話文の練習:「いろいろな場面での会話に挑戦1」	小金井会場	24
11月18日	漢字連想クイズ		31
12月2日	会話文の練習:「いろいろな場面での会話に挑戦2」		30
12月16日	クリスマス交流会		28
1月20日	会話文の練習:「いろいろな場面での会話に挑戦3」		31
2月3日	会話文の練習:「いろいろな場面での会話に挑戦4」		25
2月17日	二次熟語を作る		23
3月3日	会話文の練習:「いろいろな場面での会話に挑戦5」		30

【三田書道サークル】

1. 体制

代表:片山善衛 会計:岡見栄子 部員:10人

講師:木下修子

例会:毎月第1・3木曜日 午後1時30分~4時

会場:東京都障害者福祉会館

2. 活動報告

当サークルでは、中国、日本の古典のうちの名筆をお手本にして臨書する学習をしており、その結実作品を耳の日文化祭に展示しております。平成26年10月には東京書道教育会 愚山会の展示会を参観しました。

【生け花教室】

1. 体制 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子 部員:6人

活動日 毎月第1・3水曜日(月により第2・4水曜日に変更あり) 午後6時~9時(この間はお稽古自由)

場所 東京都障害者福祉会館

2. 活動報告

今年も2月28日、3月1日の「耳の日文化祭」に出展できました。日頃の成果をご来場いただいた方々に観て頂き、春の息吹を感じていただけたと同時に出展者にとり今後のお稽古の励みになりました。

代表が今年も毎年恒例の2月銀座・松屋デパートで開催の「古流展」出展に引き続き、3月新宿・高島屋デパート「日本生け花協会展」に出展し、高い評価を得ることができました。今年も流派にこだわらず、花展に足を運び大変勉強になりました。

【手話コーラスすみれ会】

1. 体制 代表:堀江晴子 会計:加藤津和子 運営委員:宮坂喜美子・所たづる・渡辺敏子 会員:14人

2. 活動報告

今年度も会員の希望曲を取り入れ毎回6~7曲を練習しました。主な行事として5月南房総半島の一泊旅行で親睦を深めました。8月は生きがい講座サークル体験に参加し、5曲を会場の皆さんと楽しみ有意義な

一時を過ごしました。12月3日はすみれ会のクリスマス会、20日は協会のクリスマス会に出演させていただきました。3月は恒例の食事会でした。

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 代表:片山善衛 会計:寺田純枝 部員:12人
例会:毎月第2木曜日 午後1時30分~4時
会場:東京都障害者福祉会館 講師:石井幸子氏(日本絵手紙協会 講師)
2. 活動報告
季節の行事・食物・野菜・花などモチーフをハガキに描いてポストインする学習をたのしくやっています。また、高齢難聴者の生きがい講座に体験コーナーを開設、耳の日文化祭にも作品の展示、体験コーナーを催して好評を得ております。昨年12月に講師の交替があり、新講師の積極的な学習を受けています。

【読話サークル】

平成5年に設立して21年目へスタートしましたが、屋の読話サークルへの移籍者もあり、会員減少を来しました。
ピーク時の半減状態になりましたが、発足以来、出席者が発語して他の会員が読み取る読話学習を続けています。楽しく学ぶをモットーに、時の話題や身体部位名、それらの言葉を使ってステップアップ出来る練習問題を工夫し読話練習してきました。

【屋の読話サークル】

平成25年5月15日東京都障害者福祉会館にて設立
平成25年6月より「(A)第1・第3水曜日グループ」「(B)第2・第4水曜日グループ」として、
時間14時~16時でスタートしました。

1. 体制
運営委員
・代表:井上春江(A) ・副代表:鈴木蘭子(B) ・会計:田原達代(A) ・副会計:中尾ミヨ(B)
・委員:井出裕子(A)・橋本淳子(A)・浅見和子(B)・山口純子(B) ・講師:桜井武志
2. 活動
・(A)第1・第3水曜日
4/2・4/16・5/7・5/21・6/4・6/18・7/2・7/16・8/6・8/21(合同昼食会:東武ホテルバント東京)・9/3・9/17・
10/1・10/15・11/5・11/19・12/3・12/17・1/7・1/21・2/4・2/18・3/4・3/18
・(B)第2・第4水曜日
4/9・4/23・5/14・5/28・6/11・6/25・7/9・7/23・8/21(合同昼食会:東武ホテルバント東京)・8/27・9/10・9/24・
10/8・10/22・11/12・11/26・12/10・12/24・1/14・1/28・2/11・2/25・3/11・3/25

【天文サークル オリオンの会】

1. 体制 代表:藤田克己 会計:押田深雪 会員数:7人(左記2人含む)
協働団体:全国要約筆記問題研究会東京支部、新宿区字幕作成サークル「バックコート@」他
2. 活動
①字幕付きプラネタリウム開催
多摩六都科学館(共催)10/5下見、11/23実施・レガス新宿(協力)7/5・11/15・2/7実施
※新宿は2014年度からレガス新宿の事業として行われるようになった。
②国立天文台三鷹
4/27ガイトゥア-及び天文台とのミーティング、1/30天文台下見・ミーティング、2/21夜空観望会(主催)実施
③夜空観望会 8/2練馬区田柄小学校